

事業の基礎情報

実施主体	知多乗合株式会社
事業実施地域	愛知県半田市
共創の種類	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の種類	教育・スポーツ・文化
共創パートナー	名鉄知多タクシー(株)、安全タクシー(株)、(有)知多自動車学校、半田市、亀崎小学校区バス会
運行形態	A I オンデマンド交通
運行主体	名鉄知多タクシー(株)、安全タクシー(株)

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

- 半田市内は、民間事業者が運行する路線バスを基幹路線、市が主体となって運営するコミュニティバスを地区路線とし、それぞれ生活交通の幹と枝とした公共交通ネットワークを形成しているが、市北部地域のコミュニティバスの利用者数は他の2地区と比較して3分の1程度と低迷している。この地域は狭隘路が多く残り、効率よくバス路線を設定することが難しいため、地域特性に応じてワゴン車両によるデマンド交通を導入するなど新たな移動手段が必要である。
- 公共交通の運転者の高齢化が深刻化する中、安全・安定輸送を維持するため、プロドライバーの技術・技能の棚卸しに資する取り組みが必要となるため、地域の交通安全センターでもある指定自動車教習所に協力を求めるなど、運転者の安全教育の充実を図る必要がある。

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

有(予定)
・補助事業の効果を検証し、実装に向けた具体的な計画を策定する段階で協議会へ報告

無

運輸局・運輸支局への事前相談

愛知運輸支局

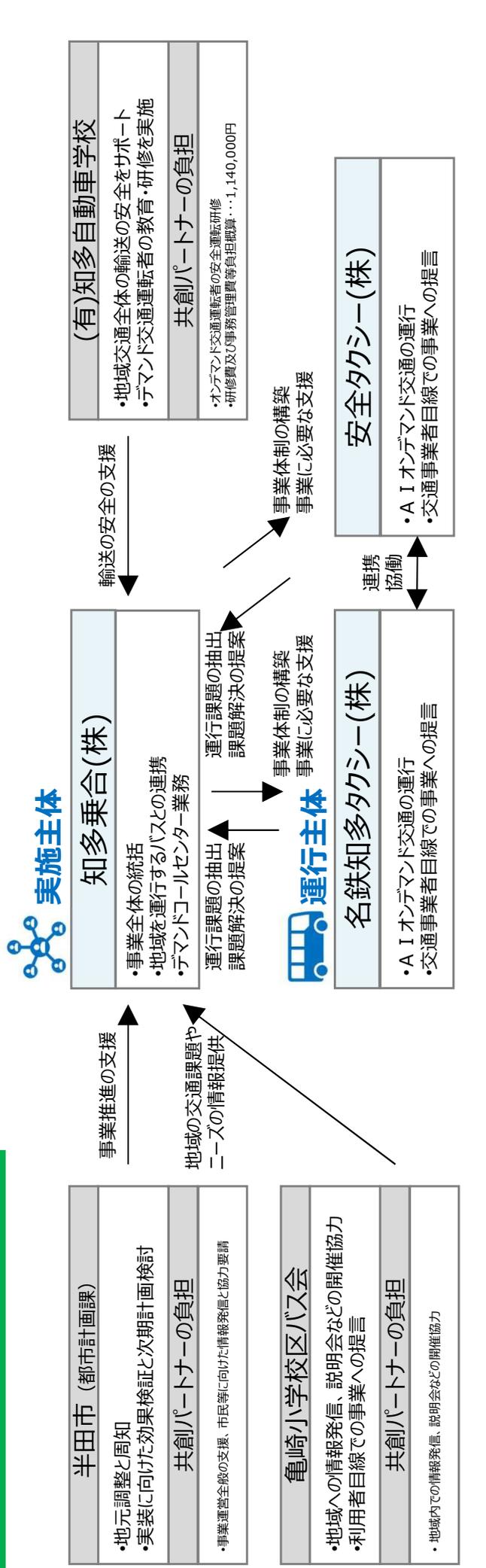
応募 1 1

半田市公共交通再編実証事業

応募様式A

半田市公共交通再編共創プラットフォーム

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

- 地域のバス事業者が中心となり、交通事業者、地域関係者、自治体が連携してA I オンデマンド技術を活用する。
- 既存バス路線が使用しづらい地域やバス路線のカバーエリア外を中心にA I オンデマンド交通を展開。あらゆる移動手段の提供で公共交通の利便性向上と潜在需要の掘り起こしにより持続可能性のある地域のくらしの足ありかたを検証し、実装に向けた計画策定を推進する。

(地域の関係者との連携・協働)

- 半田市内の公共交通の課題について、バス事業者とタクシー事業者が連携して課題解決の方法を市に提案し、市と協働して計画を検討、推進する。
- 2025年度以降の半田市公共交通再編に向けて、関係者全体で市内の交通不便地域の利便性向上、交通空白地域の解消を図る。
- 安全・安心な公共交通を実現するため、地域の指定自動車教習所を活用して運転者に対する安全研修を実施する。また、地域全体の交通安全に資する取組みとして市民に対する交通安全教室を開催する。

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

- バス路線（基幹路線・地区路線）、タクシーとオンデマンド交通がそれぞれの特性を發揮し、相互の接続と役割分担を最適化したネットワークを構築する。

事業実施手順・スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実施主体
共創PFキックオフ	↑										全員
地域公共交通会議	○			○					○		半田市
21条申請	●	→	→								タクシー事業者
地区バス会 (タウンミーティング)			↑								半田市 地区バス会
乗降ポイント設定				↑	↑						半田市 タクシー事業者
プロモーション				↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	全員
地域説明会											半田市 地区バス会
運行会社研修											知多乗合
運転者安全研修											知多自動車学校
実証運行									↑	↑	タクシー事業者
結果とりまとめ										↑	全員

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

- 実証事業の対象となる半田市北部を中心とする地域（居住人口約43,000人）にA I オンデマンド交通を導入し、交通不便地域の公共交通利用促進、交通空白地帯の潜在需要の掘り起こしを図ることで、対象地域の公共交通利用人員がおよそ30%（1日あたり45人→60人）増加することが効果として想定される。

(地域全体に及ぶと想定される効果)

- A I オンデマンド交通と既存バス路線（基幹路線・地区路線）との乗り継ぎにより、医療機関、商業施設などへの公共交通による移動が可能となることから、外出機会の増加、健康増進、生活の質の向上なども効果として期待できる。
- 実証事業の対象地域のうち交通空白地域におよそ8,800人居住しており、この地域の居住者の公共交通利用へのシフトも想定される。

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ（複数選択可）、当該内容について上記に具体的に記載してください。

○	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上	貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備	通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

- 補助事業による地域での運行スキームを活用し、2025年度以降の半田市公共交通再編にあわせ、関係者が連携してA I オンデマンド交通の導入・実装に向けて具体的に検討する。
- 補助事業の対象となる地域のほか、公共交通再編にもなって輸送サービスに大きな変更が生じる地域についてもA I オンデマンド交通の有効性や導入の可能性について検討し、実装することで交通ネットワークの充実を図る。

資金面	市内公共交通ネットワーク運営に対する地方公共団体による補助、地元事業者の協賛等による地域の支援
人材面（運転手の確保）	モードミックスによる運転者運用の適正化と効率化、交通事業者の運転者確保に対する自治体の支援、協力